

事例6

< 事例概要 >

- ・ 70 歳代の患者。腎不全で透析中。
- ・ 死因は、*Aeromonas hydrophila* 感染による腹壁の広範な壊死性筋膜炎、多臓器不全。死亡時画像診断 (Ai) 無、解剖有。
- ・ 胆石胆嚢炎に対して経皮経肝胆嚢ドレナージ施行。術前の胆汁培養で *Aeromonas hydrophila* (4+)。約 4 週間後に腹腔鏡下胆嚢摘出術施行。
- ・ 術中、出血量少量、手術時間約 2 時間 30 分。
- ・ 術後 16 時間後に創部 (臍部) 発赤を認め、17 時間後にはシバリングを伴って発熱。その後呼吸状態が悪化し人工呼吸器管理。腹壁の紫斑拡大、壊死性筋膜炎と診断し抗菌薬投与など実施するが、術後 2 日目に死亡。